

# 西 ～にし～

Good News 特集号

## ■成瀬高等学校『アクティブ・ラーニング研修会』を実施しました。』

■ 2月18日（火）、「アクティブ・ラーニング推進校」指定3年目の集大成として、本校に溝上慎一先生（学校法人桐蔭学園理事長）をお迎えし、教員研修会を実施しました。テーマは、「アクティブ・ラーニング（外化）を通して生徒を育てる」です。

内容は、①アクティブ・ラーニングの概念、②本校若手教員（日本史B）、中堅教員（コミュニケーション英語Ⅱ）による研究授業についての講評と考察、③日本全国の中学・高校の実践や、教員間でのグループワーク、情報交換等でした。

■ 以下、研修会の学びの一部を紹介します。

- ・ 日本社会の縮小に伴い、現代社会は変容しており、生徒の資質能力がより問われる時代となり、教員は、「自分の考えを伝える力」「学びに向かう生徒の姿勢」を育てることが必要である。
- ・ この姿勢は、大学入学以前でほぼ決まり、大学入学時の姿勢が「楽な方向に逃げる」であれば、その後は殆ど変化しない。さらに高校生から大学卒業時までの間、「個人内での変化（成長）」はあるが「個人間の変化（コミュニケーション力）」は、ない。よって、大学入学までの指導が重要である。
- ・ ある事象を理解するにあたり、自分の考え、その理由、根拠を関連付けて述べるようになる。これがその事象（知識）を外化して自分のものにするということ。



研修会の様子



若手教員による振り返り

■ 今回の研修会での「学び」は、自身の授業を深く振り返る貴重な時間でした。学校評価アンケートの結果を受け、私たち教員は、今後の授業作りを今一度見直し、よりよい実践へ、進化する成瀬へ、気持ちを新たに取り組みます。働き方改革も忘れずに、マネジメント力のアップも意識していきます。

（主任教諭・荒木 雅子）



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468